

## ■社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

## ■社会科の特質に応じた見方・考え方

社会的事象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して（視点）、社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること（方法）。

## ■高知県が目指す授業づくりのコンセプト

### ○社会科における「学びを変える」授業づくりとは

問題解決的な学習過程を一層充実させることです。そのためには、単元を見通した学習問題を設定し、その問題の解決に向けて諸資料や調査活動などで調べ、社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして表現し、社会生活についての理解や社会への関心を高めたりできるようにすることが大切です。

### ○社会科における「学びをつなげる」授業づくりとは

問題解決的な学習の過程において、社会的事象の見方・考え方を働かせ、社会的事象について調べ、考えたり、選択・判断したりすることができるようにすることです。そのためには、各学年で育成を目指す資質・能力や内容の社会科全体における位置付け、中学校の各分野への系統性、働かせる社会的事象の見方・考え方を促さうえて、児童が見方・考え方を働かせることができる問いを工夫することが大切です。

### ○社会科における「学びを高める」授業づくりとは

児童が社会的事象から学習の問題を見だし、問題解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、追究結果を振り返ってまとめたり、新たな問いを見いだしたりする学習過程を工夫し、社会との関わりを意識できるようにすることです。そのために、その学習過程の中で、社会的事象の見方・考え方を働かせた考察、構想や説明、議論等の学習活動が組み込まれた学習の問題を追究・解決する活動の充実を図ることが大切です。

## ■社会科の特質に応じて、効果的な学習展開ができるように配慮すべき内容

### ○学校段階間のつながりを考慮した指導の充実（※別添「小・中学校社会科における内容の枠組みと対象」参照）

指導計画を作成する際には、単元など内容のまとまりを見通し、各学年の学習内容が、社会科全体においてどのような位置付けにあるか、中学校社会科とどのようにつながるのかを意識して指導することが大切です。

### ○言語活動の一層の充実

学年の段階に応じて、複数の立場から多角的に考えることができるようにすることが大切です。また、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて、自分たちの行動や生活の仕方や、これからの社会の発展など、よりよい社会の在り方などについて考えることや、考えたり選択・判断したりしたことを根拠や理由を明確にして論理的に説明したり、他者の主張を踏まえて議論したりするなど、言語活動が充実することにより、社会的事象の特色や意味を考える力を育みます。

### ○具体的な体験を伴う学習や表現活動の充実に関する指導

地域の実態を生かし、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにすることが大切です。社会科としてのねらいを明確にし、事前・事後や現地における指導の充実を図ること、児童が実物や本物を直接見たり触れたりすること、具体的、実感的に捉えることができるようにすることが効果的な指導につながります。また、観察や見学、聞き取りなどによって分かったことや考えたことなどを適切に表現する活動を指導計画に効果的に位置付け、調べたことを基にして思考・判断したことを表現する力を育成していきます。

### ○他教科等との関連

社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想する力の育成に向けて、他教科等との関連を図ることによる効果的な指導をすることが大切です。その際、現代的な諸課題を踏まえること、社会科の学びを軸として各学年の内容に応じて単元の設定を工夫することなどに留意する必要があります。

小・中学校社会科における内容の枠組みと対象

枠組み	地理的環境と人々の生活			現代社会の仕組みや働きと人々の生活			歴史と人々の生活			◆「小・中学校における内容の枠組みと対象」について		
	地域	日本	世界	経済・産業	政治	国際関係	地域	日本	世界			
小学校・義務教育学校前期課程	第3学年	(1)身近な地域や〇〇市(町村)の様子 イ(7)「仕事の種類や産地の分布」				イ(7)「市役所などの公共施設の場所と働き」 (3)地域の安全を守る働き	内容の取扱い(4)(ウ)「国際化」 イ(イ)「外国との関わり」	(4)〇〇市(町村)の様子の移り変わり			小・中学校の社会科の内容を、「地理的環境と人々の生活」、「歴史と人々の生活」、「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」という三つの枠組みに位置付けて示しています。 また、「地理的環境と人々の生活」及び「歴史と人々の生活」は、空間的な広がりや念頭に、地域、日本、世界で区分をしています。また、「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」は、社会的な事象について経済・産業、政治及び国際関係と、対象を区分をしています。  左の表中の □ (四角囲み) で示しているものは、「内容のまとめり」を、● は、単元をそれぞれ示しています。学習の内容(単元)は、一つ一つが必ずしも三つの区分のいずれかにおさまるものではないため、----- で関連を示しています。	
	第4学年	(1)高知県の様子 (5)高知県内の特色ある地域の様子	ア(7)「47都道府県の位置と名称」		(2)人々の健康や生活環境を支える事業 内容の取扱い(3)イ「開発、産業などの事例(選択)」	(3)自然災害から人々を守る活動		内容の取扱い(1)イ「公衆衛生の向上」 イ(7)「過去に発生した地域の自然災害」 (4)高知県内の伝統や文化、先人の働き 内容の取扱い(4)ア「地場産業、伝統的な文化(選択)」				
	第5学年	(1)我が国の国土の様子と国民生活 イ(7)「生産物の種類や分布」 イ(7)「工業の盛んな地域の分布」 (5)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連	イ(7)「世界の大陸と主な海洋、世界の主な国々」		ア(イ)「自然環境に適応して生活していること」 (2)我が国の農業や水産業における食料生産 (3)我が国の工業生産 (4)我が国の情報と産業との関わり (5)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連		イ(7)「輸入など外国との関わり」 イ(ウ)「貿易や運輸」		イ(7)「生産量の変化」 イ(イ)「技術の向上」 イ(7)「工業製品の改良」 イ(イ)「情報を生かして発展する産業」			
	第6学年			イ(7)「外国の人々の生活の様子」		(1)我が国の政治の働き イ(イ)「我が国の国際協力」	(3)グローバル化する世界と日本の役割		(2)我が国の歴史上の主な事象			
	中学校・義務教育学校後期課程	地理的分野	A (1)②日本の地域構成	A (1)①世界の地域構成			州という地域の広がりや地域内の結び付き					
			C (1) 地域調査の手法	C (2) 日本の地域的特色と地域区分 C (3) 日本の諸地域	B (1) 世界各地の人々の生活と環境 B (2) 世界の諸地域	③資源・エネルギーと産業 ③産業を中核とした考察の仕方	④交通・通信		地域の伝統や歴史的な背景を踏まえた視点			
歴史的分野					(1)「ギリシャ・ローマの文明」 (1)「市民革命」、「立憲国家の成立と議会政治」、「国民の政治的自覚の高まり」 (2)「我が国の民主化と再建の過程」		A 歴史との対話 B 近世までの日本とアジア (1) 古代までの日本 (2) 中世の日本 (3) 近世の日本 C 近現代の日本と世界 (1) 近代の日本と世界 (2) 現代の日本と世界	(1)(7)世界の古代文明や宗教の起こり (2)(7) 武家政治の成立とユーラシアの交流 (3)(7) 世界の動きと統一事業 (1)(7) 欧米諸国における近代社会の成立とアジア諸国の動き (2)(7) 日本の民主化と冷戦下の国際社会 など				
公民的分野	(1)「少子高齢化」	(1)「情報化、グローバル化」		A (1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色 A (2) 現代社会を捉える枠組み B 私たちと経済 (1) 市場の働きと経済 (2) 国民の生活と政府の役割 C 私たちと政治 (1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 (2) 民主政治と政治参加 D 私たちと国際社会の諸課題 (1) 世界平和と人類の福祉の増大 D(2) よりよい社会を目指して		(1)「文化の継承と創造の意義」						

※参考「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編」(平成29年7月)

三つの柱の資質・能力

学びに向かう力、人間性等

身近な地域や自分たちの市（町村）の様子について、主体的に学習の問題を解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりする態度。

知識及び技能

- (ア) 身近な地域や自分たちの市（町村）の様子を大まかに理解すること。
(イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

思考力、判断力、表現力等

- (ア) 高知県内における自分たちの市（町村）の位置、市（町村）の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市（町村）の様子を捉え、場所による違いを考え表現すること。

《社会科における内容の枠組みと対象》※別紙参照

Table with 2 columns: 地理的環境と人々の生活, 現代社会の仕組みや働きと人々の生活. Includes sub-tables for 対象 (地域, 政治) and 内容 ((1)身近な地域や市の様子, (3)地域の安全を守る働き, (ア)市役所などの公共施設の場所と働き).

《個々の子供の状況に応じた配慮》

◇資料から情報を見付け出ししたりすることが困難な場合には、地図等の情報を拡大したり、見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にする。
◇事象に興味や関心が持てない場合には、社会の営みと身近な生活のつながりを実感できるよう具体的な体験や作業を取り入れる。

《他教科等との関連》

- 【生活】 (3) 地域と生活 (4) 公共物や公共施設の利用 (8) 生活や出来事の伝え合い
【理科】 第3学年「方位磁針の使い方」
【算数】 第3学年「長さの単位」

主な資質・能力の系統

第1・2学年【生活科】 (3) 地域と生活 (4) 公共物や公共施設の利用 (8) 生活や出来事の伝え合い
身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現すること。

本単元

第4学年 (1) 県の様子
我が国における県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、位置や地形などの地理的環境の特色を考え、文章で記述したり白地図などにまとめたことを基に説明したりすること。

第4学年 (5) 県内の特色ある地域の様子
県内の特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを文章で記述したり、白地図や年表などにまとめたことを基に説明したりすること。

第5学年 (1) 我が国の国土の様子と国民生活
◆世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、国土の構成などに着目して、我が国の国土の特色を地図帳や地球儀を用いて説明すること。
◆地形や気候などに着目して、自然などの様子や自然条件から特色ある人々の生活を捉え、国民生活や産業を関連付けて考え、文章で記述したり説明したりすること。

第5学年 (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連
国土の自然災害、森林資源の働き、公害の防止と生活環境に着目して、国土の自然環境と国民生活を関連付けて考え、白地図などにまとめたことを基に説明したり、根拠や理由を明確にして議論したりすること。

第6学年 (3) グローバル化する日本と世界の役割 イ(ア)
外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考えレポートなどにまとめたこと、根拠や理由を明確にして議論したりすること。

中学校：地理的分野
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりすること。また、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすること。

資質・能力を身に付けるための問題解決的な学習活動例

【つかむ】動機付け / 方向付け

【追究・解決する】情報収集 / 考察・構想

【まとめる】【いかす】まとめ / 振り返り

〇〇市(町村)の様子がわかる「紹介マップ」を作って、新しくきた先生方に〇〇市(町村)のことを知ってもらおう。

・身近な地域や市(町村)について、位置や空間的な広がりに着目し、調べたり話し合ったりして、場所による違いを見いだす力。

- 1. 自分たちが住む地域や市(町村)について、知っていることを出し合うなかで、学習問題を作り、学習の見直しを立てる。
・ウェビングマップを活用し、市(町村)について知っていることを出し合い、情報を共有する。
・身近な地域とその他の地域の写真を見て、違いに気づき、市(町村)全体の様子について調べることへの意欲をもつ。
・自分たちの住む市(町村)の高知県全体における位置をおおまかに捉える。
【主な問い】
自分たちの住む地域や市(町村)は、どのような様子なのだろう。
・問いに対する予想を話し合う。
・自分たちの市(町村)について、新しく来た先生方に紹介することを確認し、学習の見直しをもつ。(紹介する方法や内容を確認する。)
・これからの学習において、学んだことを、白地図やカードなどを利用して、「〇〇市(町村)の紹介マップ」にまとめていくことを確認する。
・〇〇市(町村)の白地図に校区の地図を貼り、主な道路、川、鉄道など、知っていることを書き足して、校区とのつながりを確認すること。その際、必要となる方位や主な地図記号は地図帳を活用する。

・地形と土地利用の様子を「空間的な広がり」「場所ごとによる違い」などに着目して、場所ごとの様子を比較する力。
・道路などの交通網を「空間的な広がり」などに着目し、地形条件と関連付けられる力。

- 2. 身近な地域と市(町村)全体の地形や土地利用の様子を調べる。
【主な問い】
市(町村)の中心部と各地域の様子には、どのような違いがあるのだろうか。
・観察や調査で集めたりした資料や地図などで、公共施設の位置や働き、地形や土地利用の分布などに着目し、市(町村)の各地域の様子について、グループごとに調べたり、意見交換をしたりして、違いに気づく。
・役所の働きを調べるとき、地域に古くから残る建造物について捉える。
3. 交通の様子、隣接自治体の名称や県内の市の位置などを調べる。
【主な問い】
主な道路は、どこにつながっているのだろうか。
・自分たちの市(町村)の県内における位置や隣接自治体の名称等について調べ、白地図に記入する。
・道路地図や路線図を使って、交通の広がりや土地利用との関連について着目し、市(町村)の様子について調べる。

・「紹介マップ」を基に、市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働きなどに着目して、身近な地域や市(町村)の様子を捉え、場所による違いを考え表現する力。

- 4. 「〇〇市(町村)の紹介マップ」を使って、自分たちの市(町村)の地理的環境の概要や特色を表現する。
【主な問い】
自分たちの住む市(町村)全体は、どのような様子なのだろう。
・これまで調べてきたことを手がかりに、自分たちの市(町村)の場所による違いと交通機関や公共施設の分布との関連等の特色について話し合う。
・話し合ったことを参考にし、自分なりの紹介を考えまとめたことを発表する。

＜新たな「学習の問題」の例＞

私たちの市(町村)は、どのように成り立ってきたのだろうか。
※内容(4)「市の様子の移り変わり」との関連

見方・考え方を働かせている子供の姿の例

・問いに対して、身近な地域や市(町村)について、「位置」や「空間的な広がり」に着目し、場所による違いを話し合ったりしている姿。

・問いに対して、地形や土地利用の様子を「空間的な広がり」「場所ごとによる違い」などに着目して、場所ごとの様子を比較して考え、調べたり話し合ったりしている姿。
・問いに対して、道路などの交通網という「空間的な広がり」などに着目して調べ、交通などの社会的な条件と地形条件との関連付けをしている姿。

・問いに対して、これまでの学習活動を基に、「位置」や「空間的な広がり」などに着目して、場所ごとの様子を比較したり、土地利用の様子と交通などの社会的な条件を関連付けて、場所による違いについて説明したり、話し合ったりしている姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

・位置や空間的な広がりに着目できるよう地域について調べる視点を導き出すようにする。

・市(町村)の場所による違いを地形や土地利用と関連付けて考えることができるようにする。
・土地利用の特色と交通機関を結び付けて考えることができるような資料を示すようにする。

・「〇〇市(町村)の紹介マップ」を作成することを通して、〇〇市(町村)の特色を捉えることができるようにする。

資質・能力を身に付けるための問題解決的な学習活動例

三つの柱の資質・能力

学びに向かう力、人間性等

高知県の様子や47都道府県の名称と位置について、主体的に学習の問題を解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうしたりする態度。理解や思考を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を持つこと。

知識及び技能

- (ア) 高知県の地理的環境の概要を理解すること。また、47都道府県の名称と位置を理解すること。
(イ) 地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。

思考力、判断力、表現力等

- (ア) 我が国における高知県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現すること。

《社会科における内容の枠組みと対象》※別紙参照

Table with 2 columns: 地理的環境と人々の生活. Rows for 対象 (地域, 日本) and 内容 ((1)高知県の様子, ア(ア)「47都道府県の名称と位置」).

《個々の子供の状況に応じた配慮》

- ◇資料から情報を見つけ出しやすることが困難な場合には、地図等の情報を拡大したり、見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にする。
◇情報収集や考察、まとめの場面において、考える際の視点が定まらない場合には、見本を示したワークシートを作成する。

《他教科等との関連》

- 【算数】第4学年「面積の単位」
【国語】第4学年「学年別漢字配当」

【つかむ】動機付け / 方向付け

【追究・解決する】情報収集 / 考察・構想

【まとめる】【いかす】まとめ / 振り返り

高知県の特色をまとめ、県外の人にPRしよう

- 高知県の位置や隣接する県との位置関係に着目し、調べたり話し合ったりして、地理的環境の特色を見いだす力。

- 1. 日本地図や航空写真をもとに、高知県の大きさや形、位置について調べる。
【主な問い】高知県はどこにあり、どのような特産品があるのだろうか。
2. 高知県の様子について予想し、学習計画を立てる。
3. 高知県の様子について予想し、学習計画を立てる。

- 地形の様子を「位置や空間的な広がり」に着目して、県の地理的環境の特色を地理的位置と関連付けられる力。
産業や交通網などの「空間的な広がり」などに着目し社会的条件との関連付けられる力。

- 3. 高知県の地形についての資料を集めたり調べたりする。
【主な問い】高知県はどのような地形をしているのだろうか。
4. 高知県の交通網の広がりや産業の分布について資料を集めたり調べたりする。
【主な問い】高知県の産業の分布や交通の広がり、他県とのつながりはどのようにしているのだろうか。
5. 高知県の主な市や観光地について資料を集めたり調べたりする。

- 「高知県PRマップ」を基に、県の位置、県全体の地形や土地利用、産業の分布、交通の広がりなどに着目して、高知県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え表現する力。

- 6. これまでの学習活動を基に、「高知県PRマップ」に自分の考えを書き入れ、高知県の様子についての考えを交流し合う。
【主な問い】高知県の特色について、県外の人にどのようなPRをしたら、高知県の良さが伝わるだろうか。
高知県の様子について調べた情報を総合し、概要や特色を考え、文章で記述したり白地図やマップにまとめたりしたことを基に話し合う。

＜新たな「学習の問題」の例＞
高知県にはどのような特色ある地域があるのだろうか。
※第4学年(5)県内の特色ある地域の様子との関連

見方・考え方を働かせている子供の姿の例

- 問いに対して、日本における高知県の位置などの「地理的位置」、県内の各地の様子や景観などの「空間的な広がり」などに着目して、場所ごとに調べたり話し合ったりしている姿。
問いに対して、地形の様子を県全体の主な河川、山や海などの「位置や空間的な広がり」に着目して、県の地理的環境の特色(山が多い等)を地理的位置(北側、南側等)と関連付けて調べたり話し合ったりしている姿。
問いに対して、交通網の分布や産業の広がりという「空間的な広がり」などに着目して調べ、社会的条件などと関連付けをしている姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

- 位置や空間的な広がりに着目できるような高知県について調べる視点を導き出すようにする。
位置や空間的な広がりに着目できる資料の提示を行い、地理的位置と関連付け調べる視点を導き出すようにする。
産業の広がりや交通機関の結びつきの様子などの社会的条件を読み取ることができる資料を示すようにする。
「高知県PRマップ」を作成することを通して、高知県の特色を捉えることができるようにする。

主な資質・能力の系統

第1・2学年【生活科】
(3) 地域と生活
(4) 公共物や公共施設の利用
(8) 生活や出来事の伝え合い
◆ 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現すること。

第3学年
(1) 身近な地域や市(町村)の様子
都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことを基に説明したりすること。

本単元

第4学年
(5) 県内の特色ある地域の様子
県内の特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを文章で記述したり、白地図や年表などにまとめたことを基に説明したりすること。

第5学年
(1) 我が国の国土の様子と国民生活
◆ 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、国土の構成などに着目して、我が国の国土の特色を地図帳や地球儀を用いて説明すること。
◆ 地形や気候などに着目して、自然などの様子や自然条件から特色ある人々の生活を捉え、国民生活や産業を関連付けて考え、文章で記述したり説明したりすること。

第5学年
(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連
国土の自然災害、森林資源の働き、公害の防止と生活環境に着目して、国土の自然環境と国民生活を関連付けて考え、白地図などにまとめたことを基に説明したり、根拠や理由を明確にして議論したりすること。

第6学年
(3) グローバル化する日本と世界の役割 イ(ア)
外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考えレポートなどにまとめたり、根拠や理由を明確にして議論したりすること。

中学校：地理的分野

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりすること。また、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすること。

### 資質・能力を身に付けるための問題解決的な学習活動例

#### 三つの柱の資質・能力

##### 学びに向かう力、人間性等

日本の食料生産の概要や食料生産が国民生活に果たす役割について、主体的に学習の問題を解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりする態度。

多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を持つこと。

##### 知識及び技能

(7) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

(1) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。

(9) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

##### 思考力、判断力、表現力等

(7) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(1) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格やその費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

#### 《社会科における内容の枠組みと対象》※別紙参照

地理的環境と人々の生活	現代社会の仕組みや働きと人々の生活	歴史と人々の生活
対象 日本	対象 経済・産業	対象 日本
内容 (1) 我が国の国土の様子と国民生活 イ(7)「生産物の種類や分布」 イ(9)「工業の盛んな地域の分布」	内容 (2) 我が国の農業や水産業における食料生産	内容 イ(7)「生産量の変化」 イ(1)「技術の向上」

#### 《個々の子供の状況に応じた配慮》

◇地図等の情報を拡大したり、統計資料の見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にする。

◇社会的事象を読み取りやすくするために、写真などの資料や発問を工夫する。

◇見通しがもてるようにヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにする。

#### 《他教科等との関連》

【算数】第5学年「割合、百分率」「帯グラフと円グラフ」  
【家庭】第5学年「ごはんの調理」

【つかむ】動機付け / 方向付け

【追究・解決する】情報収集 / 考察・構想

【まとめる】【いかす】まとめ / 振り返り

### 日本の食料生産の未来について考え、生産者、消費者としてできることを提案しよう。

・食料自給率の変化に着目して、それぞれの食料生産物の自給率について自分たちの生活と関連付けて、調べたり話し合ったりして問いを見いだす力。

1. 日本の食生活や食料生産の変化を大まかにつかむ。

・「農業や水産業のさかんな地域」の学習を振り返る。(輸入品との競合、生産量の変化)

#### 【主な問い】

私たちの食生活が変化することで、食料生産にどのような変化が見られるようになったのだろうか。

・資料(朝食等の写真、米の消費量の推移等)から、食生活が変化してきたことと、輸入品(量)の増加が関連していることに気付く。

・食生活の変化により、日本の食料生産にどのような変化が見られるようになったか予想する。

2. 日本の食料生産の未来を予想し、学習計画を立てる。

・食料の輸入の増加と食料自給率の低下、外国との比較を関連付けて考え、日本の食料生産について課題意識を持ち、学習問題をつくる。(消費者、生産者等の立場を踏まえる。)

・単元の終末にそれぞれの立場に対して提案をすることを示し、学習の見通しをもたせる。

・「食料生産の技術や工夫」などの人々の努力を、輸入品との競合など食料生産に関する問題と関連付けられる力。

3. 日本の食生活の変化について、「食料自給率」、「生産量と輸入量」に着目して調べる。

#### 【主な問い】

私たちの食べているものは、これからも食べ続けられるのだろうか。

①これまでの学習から、国内の農業、水産業の生産者の工夫や努力について振り返り、課題を整理する。

・働く人(従事者の減少、高齢化)、環境・自然(気象条件、土地)、国の政策(輸入品との競合、生産調整、生産量の減少等)等に着目して調べる。

②「食料自給率」、「生産量と輸入量」の移り変わりについて調べる。

・食料の輸入に関するメリットとデメリットについて考える。

③食の未来を守るための取組について調べる。

・食料生産を増やすために、生産に関わる様々な人たちが行っていることについて調べる。(地産地消)

・食の安心、安全への取組(トレーサビリティ)やフードマイレージについて調べる。

・グループからの発表を基に、「食料生産に関わる人々の努力や工夫」、「生産技術の向上」などに着目して、食料生産に関する問題の克服と関連付けて捉え、今後の食料生産における改善点を説明する力。

4. 食料生産の未来のために、生産者、消費者としてできることを提案書にまとめ、食料生産の未来について、意見を交流し合う。

#### 【主な問い】

日本の食料生産の未来について考え、生産者、消費者としてできることを考えよう。

・我が国の食料生産が、自然条件を生かして営まれていることや、そこに関わる人々の努力(生産・輸送・販売における工夫)によって国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることをつかむ。

・我が国の食料生産について、消費者や生産者の立場などから多角的に考え、これからの農業などの発展に向けて、自分の考えを伝える。また、他者の発表を聞き、自分の考えを広げたり深めたりする。

#### <新たな「学習の問題」の例>

私たちのくらしは、工業生産によってどのように支えられているのだろうか。

※内容(3) 我が国の工業生産との関連

#### 見方・考え方を働かせている子供の姿の例

・食料自給率の「変化」に着目して、それぞれの食料生産物の自給率について自分たちの生活と関連付けて、調べたり話し合ったりして問いを見いだしている姿。

・問いに対して、生産量、輸入量、農業従事者、国の政策に着目し、生産量の変化や食料生産に関する問題と関連付けて考えたり表現したりしている姿。

・これまでの学習活動を基に、食料生産物ごとに見られる「工夫や問題」に着目し、それらを総合して日本の食料生産の今後について考えたり、表現したりしている姿。

#### 見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

・食料自給率の「変化」に着目できるよう地域について調べる視点を導き出すようにする。

・生産量、輸入量、農業従事者、国の政策に着目できるように、視点を導き出し、それらを生産量の変化や食料生産に関する問題と関連付けて考えることができるようにする。

・グループごとの発表の共通点を探すことを通して、日本の食料生産についての「工夫や問題」を捉えることができるようにする。

#### 主な資質・能力の系統

##### 第3学年

(2) 地域に見られる生産や販売の仕事  
◆仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に関わっている人々の仕事の様子や捉え、地域の人の生活との関連を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことを基に説明したりすること。  
◆消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に関わっている人々の仕事の様子や捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、文章で記述したり、図表などにまとめたことを基に説明したりすること。

##### 第4学年

(2) 人々の健康や生活環境を支える事業  
◆供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、電気、ガスの供給のための事業の様子や捉え、その事業が果たす役割を考え、文章で記述したり、白地図や図表などにまとめたことを基に話し合ったりすること。  
◆処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子や捉え、その事業が果たす役割を考え、文章で記述したり、白地図や図表などにまとめたことを基に話し合ったりすること。

##### 第5学年

##### (3) 我が国の工業生産

◆工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりすること。  
◆製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、文章で記述したり、図表などにまとめたことを基に説明したりすること。  
◆交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことを基に説明したりすること。

##### 第5学年

##### (4) 我が国の情報と産業との関わり

◆情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、聞き取り調査をしたり、映像や新聞などの各種資料で調べたりしてまとめ、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりすること。  
◆情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して調べ、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりすること。

##### 第5学年

##### (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連

国土の自然災害、森林資源の働き、公害の防止と生活環境に着目して、国土の自然環境と国民生活を関連付けて考え、白地図などにまとめたことを基に説明したり、根拠や理由を明確にして議論したりすること。

##### 中学校：地理的分野

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりすること。また、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすること。

##### 中学校：公民的分野

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりすること。また、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすること。

### 資質・能力を身に付けるための問題解決的な学習活動例

#### 三つの柱の資質・能力

##### 学びに向かう力、人間性等

室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画、芸能等に関心を持ち、主体的に学習問題を調べて解決しようとする態度。

多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に、我が国の将来を担う国民としての自覚を持つこと。

##### 知識及び技能

- (ア) 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解すること。
- (イ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

##### 思考力、判断力、表現力等

- (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

#### 《社会科における内容の枠組みと対象》※別紙参照

歴史と人々の生活		歴史と人々の生活	
対象	日本	対象	世界
内容	(2)我が国の歴史上の主な事象	内容	(内容の取扱い) (2)才当時の世界との関わり

#### 《個々の子供の状況に応じた配慮》

- ◇資料から情報を見つけ出しやすさが困難な場合には、情報を精選し、視点を明確にする。
- ◇学習問題に気づくことが難しい場合には、写真などの視覚資料を多く提示したり、発問を工夫したりする。
- ◇言語表現をしにくい場合には、キーワードを提示したり、表現例を示したワークシートを作成したりする。

#### 《他教科等との関連》

- 【音楽】 伝統音楽
- 【道徳】 伝統と文化の尊重

#### 主な資質・能力の系統

##### 第3学年

- (4) 市の様子の移り変わり  
交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、文章で記述したり、年表などにまとめたことを基に話し合ったりすること。

##### 第4学年

- (4) 県内の伝統や文化、先人の働き  
◆歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉えたことや、人々の願いや努力について考えたことを、文章で記述したり、年表などにまとめたことを基に説明したりすること。  
◆当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、文章で記述したり、年表などにまとめたことを基に説明したりすること。

##### 第5学年

- (3) 我が国の工業生産  
◆工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりすること。  
◆製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、文章で記述したり、図表などにまとめたことを基に説明したりすること。  
◆交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことを基に説明したりすること。

#### 本単元

##### 中学校：地理的分野

- (3) 日本の諸地域  
地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察したりすること。また、考察したことを説明したり、それらを基に議論したりすること。

##### 中学校：歴史的分野

- 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりすること、また、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすること。

#### 【つかむ】動機付け / 方向付け

#### 【追究・解決する】情報収集 / 考察・構想

#### 【まとめる】【いかす】まとめ / 振り返り

室町文化にはどのような特色があり、今なお多くの人々に親しまれているのはどうしてかを考え、発表しよう。

- ・文化遺産の特徴に着目し、比較したり結び付けたりして話し合い、その差異や共通性を見いだす力。

1. 平安時代と室町時代の建物を比較して、くらしの変化に興味を持つ。

##### 【主な問い】

平安時代と室町時代の代表的な建物のちがいはどこだろう。

- ・平等院鳳凰堂と金閣・銀閣の建築様式や庭園について比較する。
- ・共通点や相違点を話し合う。

2. 室町時代に生まれた文化と現代の文化を比較し、「学習の問題」を設定し、学習計画を立てる。

- ・東求堂と現代の和風建築（旅館等）を比較する。
- ・共通点について話し合う。
- ・建築以外の面で、室町文化と現代のつながりについて考えていくことを伝え、単元ゴールの見通しを持たせる。

- ・室町文化の担い手に着目して、時代背景や文化の内容を調べることを通して現代の文化と関連付ける力。
- ・室町文化の広がりに着目して、その影響について考察する力。

3. 金閣と銀閣について、それぞれができた時期の社会の動きを調べ、整理する。

##### 【主な問い】

室町時代に生まれた文化にはどのような特色があるのだろうか。

- ・建造物について調べることを通して、室町時代の大まかな歴史をおさえる。
- ・二つの建造物の違いから、文化の違いをつかむことができるようにする。

4. 室町時代に生まれた文化（水墨画、石庭、茶の湯、生け花、能楽、狂言等）について調べ、自分たちの生活との関わりについて考える。

##### 【主な問い】

室町時代に生まれた文化は、私たちの生活とどのようなつながりを持っているのだろうか。

- ・室町時代の文化について調べる。
- ・調べたことから、現代の生活とのつながりを考える。

5. 室町文化が、地方にも広がっていった原因や背景をつかみ、その影響について考える。

##### 【主な問い】

室町文化は、京都以外の地域にどのように広まり、どのような影響を与えたのだろうか。

- ・文化の広がった経緯をつかみ、広がった要因を調べる。
- ・地方に広がったことにより、どのような影響を与えたのかを考える。

- ・室町文化が長きにわたって継承されていることに着目して、その理由を考えたり話し合ったりすることを通して、今後その文化に対して自分はどのように関わっていくかを判断し表現する力。

6. 室町文化が、600年以上も継承されてきた理由についてグループで調べたり、意見交換したりしながら、自分なりの言葉で表現する。また、それらの文化と今後どのように関わっていくべきなのかを判断し表現する。

##### 【主な問い】

室町文化が今なお多くの人々に親しまれているのはどうしてなのだろうか。

- ・室町文化が現代にまで続いてきた理由について調べたり、その良さについて意見交換したりしながら、自分なりに表現する。
- ・継承されてきた文化について、今後の自分の向き合い方を判断し、表現する。

#### ＜新たな「学習の問題」の例＞

この時代の文化は、室町文化とどのようなつながりを持っているのだろうか。

- ※内容(2) 我が国の歴史上の主な事象(カ)、(ク)との関連

#### 見方・考え方を働かせている子供の姿の例

- ・問いに対して、各時代の建造物を比較する際、共通点や相違点に着目して、どのように変化したのかを話し合っている姿。

- ・金閣と銀閣の相違点に着目して、それぞれの文化の違いを時代背景と関連付けて考え、話し合っている姿。
- ・問いに対して、室町時代に新たに生まれた芸能の共通点に着目して、特色について考察したり、話し合っている姿。
- ・問いに対して、室町文化の「空間的な広がり」に着目して、社会的事象と関連付けながら、要因・影響について考察している姿。

- ・問いに対して、室町文化の多くが日本の伝統文化となっていることに気付くとともに、伝統文化と自分の関わりについて考察している姿。

#### 見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

- ・時期や時間的な経過に伴って起きた変化に着目できるように、比較すべき視点を明示する。

- ・絵画や庭について比較する視点を明示し、水墨画や枯山水の特色を考察することにつなげる。
- ・室町文化の芸能の担い手や目的について調べることによって、特色を考察し、表現することにつなげる。
- ・室町文化の広がりや経路や要因などに着目するように資料を提示する。

- ・現代に残る「伝統」に着目して、室町文化と関連付けて表現できるようにする。
- ・伝統文化の重要性に気付くようにする。